

第3回石岡地方医療対策カンファレンス結果概要

日時：令和2年1月22日（水）19:00 開始 19:44 終了

場所：石岡市役所本庁2階201・202会議室

出席者：今泉文彦石岡市長、坪井透かすみがうら市長、島田穣一小美玉市長、柏木史彦石岡市医師会長

傍聴者：20名

事務局よりパブリックコメントの実施結果について報告し、石岡地域医療計画（案）について説明した。

各委員から計画について意見をいただいた。また、今後のスケジュールについて事務局より説明した。

主な意見は以下のとおり。

柏木会長：細かい現状分析とともに今後何をなすべきかが書かれている計画。ここまで来るので2年ほどかかった。本当に危機に直面している状況で、この先どれだけスピード感を持って地域医療をやっていけるかがポイント。病院の中身についても、どのようにすれば地域のためになるか、医師会も参画して、病院ができたあともしっかり運営に参画していかなければならないと考えている。先週の大学の新年会に参加した際に、医師の働き方改革について話題が出ていた。これまで医師は、当直後そのまま日中の診察も行っていたが、働き方改革で当直の医師は当直後休まなければいけなくなった。そうなると大学病院で働いている医師は勤務日数が減るため、外部の当直のアルバイトの回数を減らせと教授が若い医師に言うようになった。若い医師は、給料が安いので、そうなると妻や子を養えなくなる。そうすると大学病院で働ける医師が減るので、大学病院がまわらない。そういう状況が始まっている。最初に影響があるのが、地方や魅力のないところ。もうすでに始まっているため、急いでこの問題に取り組まないといけない。

島田市長：『持続可能な医療体制で誰もが安心して暮らせる石岡地域』ということで、我々もそういうところを目指してこれまで意見を述べてきた。この計画を実現させるには、医師と医療職の覚悟があることが前提。この医療計画が円滑に進んで医師不足の解消や初期救急及び二次救急の充実が図れることを期待している。3市それぞれ様々な政策を展開しているが、人口減少に歯止めをかけるべく早期の産科の設置や小児科の拡充を進めていきたい。石岡市はリーダーシップを取ってもらい、隣接しているので、しっかりと応援し努力をし、実現していきたい。我々も精一杯取り組むのでよろしくお願ひしたい。

坪井市長：この話の発端としては、石岡市で産科がなくなった。また小児科救急医療も対策をしなければならないということで、昨年度市民医療懇談会を設置し、今年度は専門委員会のご協力により医療計画がまとめた。石岡市医師会病院と石岡第一病院

の公立化による再編統合と山王台病院への病床配分という大変大きな事業で、これを進めていくにあたっても、さらに解決しなければいけないことがたくさんある。小児救急の充実等に向けて今後も連携していきたい。

今泉市長：この計画については、3市とともに医師会とも強い連携を図っていかなければならない。計画の趣旨を改めて確認すると、1ページに記載してある通り、産科の設置、小児科の拡充、救急緊急診療の継続が挙げられている。それを具体的にまとめたのが12ページで、課題を医療体制、受療動向、救急体制に整理している。課題への対策を体系化して記載したのが14ページ。この部分が短期・中期の目標になっている。計画について、具体的に修正や改善案などはないか。

島田市長：改善ではないが、強く言いたいのは、石岡地域に産科と小児科と救急体制がないことが大きな問題。小美玉市としては、定住を図っていくための施策として産科・小児科医療の充実ということに限定して支援をしていきたいということを先ほどより申し上げている。そのことについてできるだけ早急に、もっと力を入れていただきたいと思う。

今泉市長：14ページの表に産科について何か加えることはできないだろうか。

飯田室長：前回のカンファレンスでも申し上げた通り、産科については、1～2年というのは実情としては難しい。早急にというように事務局でも考えているが、病院の整備時期等も鑑みると中期というのが現実的と考えている。

今泉市長：準備項目みたいなものもいれることはできないだろうか。

島田市長：できることは重々承知しているが、最初から中期というのではなく、何かは行動してほしい。

柏木会長：『新規診療所・助産院等の誘致・開業支援』は早くできるので、短期に入れたらどうか。

今泉市長：では、これを短期に上げたいが事務局としてはいかがか。

飯田室長：いただいた意見を踏まえて、『新規診療所・助産院等の誘致・開業支援』の部分について準備段階となるものを短期に入れて修正したい。

坪井市長：器を作つて中身がないということがないようきちんと実行に移していただきたい。

柏木会長：ここまでくるのに3年を要していて、ここから3年かかったら崩壊してしまう。

再三申し上げているとおり緊急診療も大変苦しい。毎年参加する先生が少なくなってきており、本当に苦しい。半年でも1年でも早く新病院ができる事を願っている。

今泉市長：今の話は計画に盛り込むというよりもこれから進め方ですね。他にはよろしいか。意見が無いようだったら、いただいた意見を反映させ、石岡地域医療計画の完成としたいがよろしいか。

一異議なしの声一。

今泉市長：では、いただいた意見を踏まえ、石岡地域医療計画に反映し、完成したものを後日お送りする。その後、周知を図るとともに、次年度に向け必要な施策を展開していく。引き続き、ご理解とご協力をお願いしたい。